

私は昭和32年に開智小学校を卒業した。儀式のときに歌っていたのは「金剛石も磨かずば…」という歌で、今でも歌える。当時は言葉の意味も分からずに歌っていた。明治天皇の皇后である昭憲皇太后が作られたということは大人になってから知った。

開智小にも校歌があり、児童が歌っていると知ったのは、

何年前かに卒業文集を寄贈するため
に旧開智学校を訪

ねた折だ。学芸員に聞いたら楽譜と歌詞のコピーをくださった。4番まである歌詞は昔の言葉遣いだ。14日付の口差点「知らなかった校歌」を読んで、そのことを思い出した。歌うことが許されなかった期間があったとすれば、理由を知りたいものだ。

今でも鮮明に覚えているのは3年生のときに、千歳橋北側にあった市

民会館が火事になったことだ。全員が校庭に避難してしゃがんでいたが、川向こうから火の粉がバンバン飛んできた。縄手通りの中劇には学校で映画鑑賞に連れて行ってもらった。何を見たかは忘れたが、20円持っていた。

市民会館も開智小学校も、縄手通りの先

誇らしく思う母校

にあった市役所も、それぞれ別の場所に移った。中

劇の跡地にはマンションが建ち、子供のころの風景とはすっかり変わった。60年以上も前のことだから当然だろうが、昔を思い出して懐かしむのは年をとったせいなのかと思う。昨年、旧開智学校舎は国宝に指定された。たまたま学区域に住んでいたから通ったのだが、何となく誇らしく思うのは私だけだろうか。

(松本市新村、亀井弘江、74歳)

口 差 点

こうさてん